

# KENWOOD

CDレシーバー

## RX-D540

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

## KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。  
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9（ケンウッド青葉台第2ビル）  
（大阪）電話(06)357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

© B64-0889-00 (JW)

# CONTENTS

## ●安全上の注意

安全上の注意事項・・・・・・・・・・・・・ 3

使用上の注意・・・・・・・・・・・・・ 8

## ●操作のしかた

ALL MODE・・・・・・・・・・・・・ 10

TUNER MODE・・・・・・・・・・・・・ 14

CD MODE・・・・・・・・・・・・・ 16

DISC CHANGER MODE・・・・・・・・・・・・・ 18

REMOTE CONTROL MODE・・・・・・・・・・・・・ 22

接続のしかた・・・・・・・・・・・・・ 24

取り付けかた・・・・・・・・・・・・・ 26

故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・・・・ 27

保証とアフターサービス・・・・・・・・・・・・・ 29

定格・・・・・・・・・・・・・ 30

### スイッチの押しかたについて

①・・・・・・・・・・・・・スイッチを押し、すぐに指を離します。

①・・・・・・・・・・・・・スイッチを1秒以上、または2秒以上押し続けます。

## 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について、この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

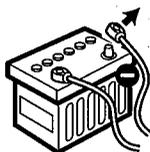
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## 警告

- ❗ カーオーディオ製品はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



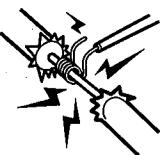
- ⚠ 配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



- ❗ カーオーディオ製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- ⊘ コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- ⊘ カーオーディオ製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。

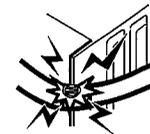


## 警告

- ❗ カーオーディオ製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。

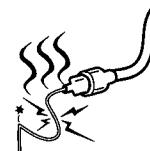


- ⊘ 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- ⊘ アースコードを取り付ける場所は、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

- ⊘ 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が壊れやすく、ショート・発熱事故による火災が起るおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起るおそれがあります。



- ❗ カーオーディオ製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



- ❗ カーオーディオ製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因となります。

- ❗ 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

## 警告



運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。



- ・コントロール設定や調整、ネーム入力などのカーオーディオの操作



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



万一、＜異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど＞異常がございましたら、直ちに使用を中止し、必ずくお買い上げの販売店＞にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。



カーオーディオ製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

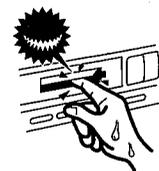


修理は必ずくお買い上げの販売店＞、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

## 注意



カセットテープ挿入口やディスク挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。



カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためくお買い上げの販売店＞にご依頼ください。



ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをするおそれがあります。



液晶を使用している製品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹼で洗い落としてください。



カーオーディオ製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。



カーオーディオ製品は、車載用として以外の用途では使用しないでください。

## 本機に接続できるディスクチェンジャーについて

本機でコントロールできるディスクチェンジャーは1台のみです。別売のCD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S200"を使用してディスクチェンジャーを2台接続する場合は、KCA-S200付属のコントローラーでディスクチェンジャー1、2を切り替えてください。

KDC-C110, KDC-C106, KDC-C11, KDC-C10, KMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C50, KDC-C55のいずれかを接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。

また、C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

なお、上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると故障や破損の原因となります。

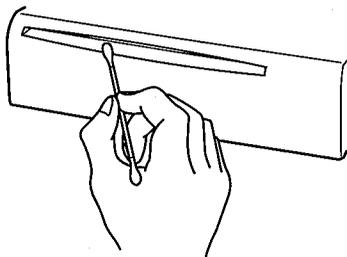
本機機能のディスクネームプリセットはKDC-C110、KDC-C106、KDC-C11、C705i、C705sr、MD6、MD66、KMD-C80接続時のみ使用できます。

また、ディスクチェンジャーによりネームセットできる枚数が異なります。詳しくは"P21"をご覧ください。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、時々掃除してください。ホコリがたまった状態でCDを挿入するとCDにキズが付くことがあります。



## 結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部に露(水滴)がつくことがあります。これを結露といい、この状態ではCDの読み取りができなくなることがあります。

このような場合は、CDを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

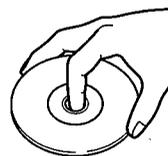
もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

## セットの異常にお気づきのときは

万一、セットの異常にお気づきのときは、まず本機のリセットボタンを押してください。それでも正常に戻らないときは、そのままの状態で購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へ連絡してください。

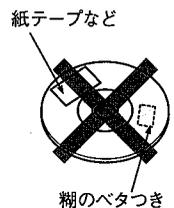
## CDの取り扱い

CDの汚れや、ゴミ、きず、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。



取り扱いは、記録面に触れないようにします。ラベルが印刷されていない面が、記録面です。

記録面はもちろん、ラベルが印刷されている面にも、紙テープなどを貼らないでください。



紙テープなど、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合は、必ずアルコールで拭き取ってからご使用ください。特に中古CDやレンタルCDなどはご注意ください。

## CDの保存

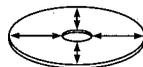
直射日光が当たる場所(シートやダッシュボードの上)など、温度が高い場所には置かないでください。

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。きず、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

## CDのお手入れ

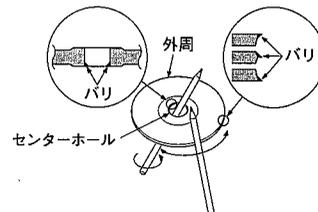
CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスややわらかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふきとってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



## 新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音とびの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

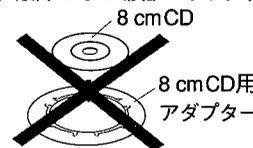


## CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シートなど)は故障の原因となるので利用しないでください。



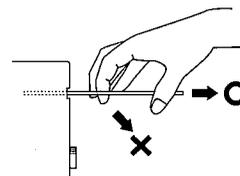
市販の8cmCD用のアダプターも使用しないでください。故障となる場合があります。

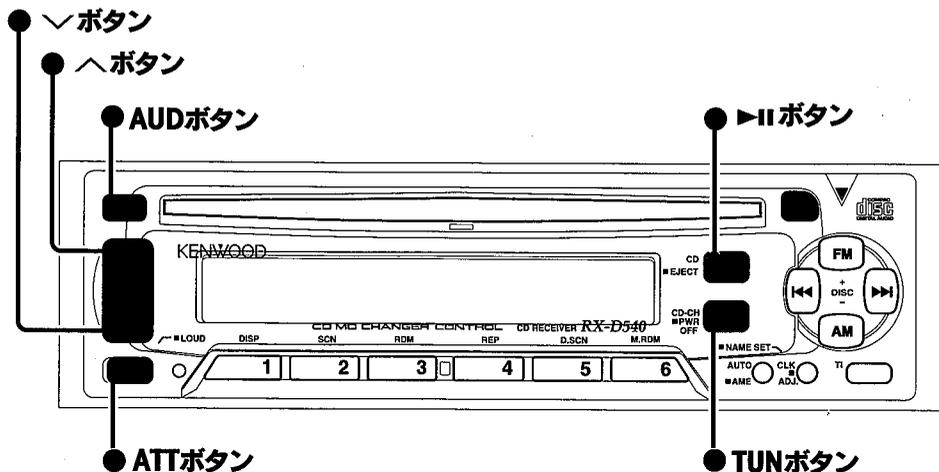


## CDの取り出しかた

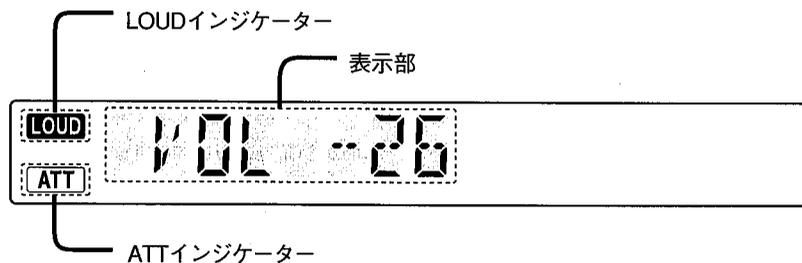
本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。

下側に強く押しながら引き出すとCD記録面に傷をつける原因となります。





●ディスプレイ表示 .....



**1 パワーON** —電源を入れる—

- ラジオを聴くとき  
TUNボタンを押すとラジオがONになります。
- CDを聴くとき  
CDのラベル面を上にしてCDを差し込むとCD演奏が始まります。  
CDが中に入っているときは、▶||ボタンを押すとCD演奏が始まります。
- ディスクチェンジャーを聴くとき  
TUNボタンを押してディスクチェンジャーモードにします。⇒P19

**メモ**  
ディスクチェンジャーを接続していない場合はディスクチェンジャーモードの選択はできません。

**2 パワーOFF** —電源を切る—  
TUNボタンを1秒以上押すとイルミネーションが消えて電源がOFFになります。

**3 ボリューム** —音量調整—  
上ボタンを押すごとに音量が大きくなります。  
下ボタンを押すごとに音量が小さくなります。

**4 アッテネーター** —音量をすばやく小さくする—  
ATTボタンを押すごとにアッテネーターがON/OFFします。  
ON中はATTインジケータが点滅して音量が瞬時に小さくなります。

**5 ラウドネス** —小音量時にメリハリのある音質にする—  
ATTボタンを1秒以上押すごとにLOUDネスがON/OFFします。  
ON中はLOUDインジケータが点灯して高音と低音が強調された音質になります。

**メモ**  
チューナーモードは低音のみ強調された音質になります。

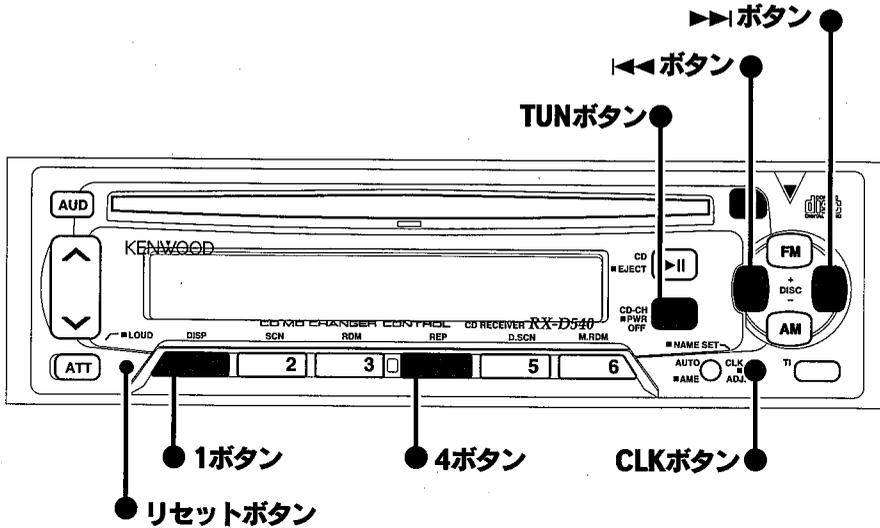
**6 オーディオコントロール** —音質調整—

1. AUDボタンを押すごとにBAS (低音) ⇒ TRE (高音) ⇒ BAL (左右のバランス) ⇒ FAD (フェダー; 前後のバランス) ⇒ NF (ノンフェーディング; プリアウトレベル) ⇒解除 (音質)の順に表示され、調整できるようになります。
2. 各調整モード中に上/下ボタンを押すと各設定値が以下の範囲で変更できます。
 

BAS (低音) / TRE (高音)	..... 10 ~ +10
BAL (バランス)	..... L15 ~ R15
FAD (フェダー)	..... R15 ~ F15
NF (ノンフェーダー)	..... 0 ~ 15

**メモ**

- 低音、高音はCD、チューナー (FM/AM)、ディスクチェンジャーモードごとに調整することができます。
- プリアウト切り替え (13ページ) でNFを選択していないときは、NF表示はされません。



●ディスプレイ表示 .....



**7** プリアウト切り替え — プリアウトの出力方法を選ぶ —

1. パワー-OFFします。
2. **1ボタン**と**4ボタン**を押しながら**TUNボタン**を押します。
3. この操作を繰り返すごとに [REAR] ↔ [NON-FADE] と表示され、プリアウトが切り替わります。

**メモ**

- NON FADE (ノンフェーディング) とはFAD (フェーダー) で前後にバランス調整してもレベルが変化しない出力です。
- NON FADE (ノンフェーディング) に切り替えるとハイパスフィルター (カットオフ周波数180Hz) がONになりRX-D540のスピーカー出力は低音が減衰した音質になります。

**8** 時計表示切り替え — 時計表示にする —

CLKボタンを押すごとに各モード表示 ↔ 時計表示に切り替わります。

**メモ**

パワー-OFF、およびイクミッションキーをOFFにした場合は時計表示しません。

**9** 時計調整 — 時刻を合わせる —

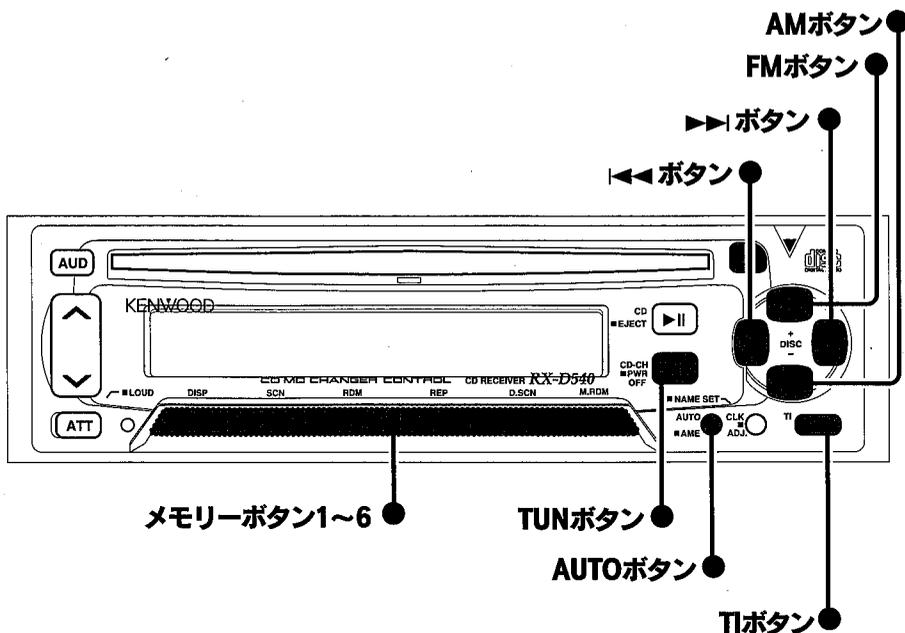
1. CLKボタンを押して時計表示にします。
2. CLKボタンを押しながら<<<ボタンを押すと“時”、>>>ボタンを押すと“分”が調整できます。

**メモ**

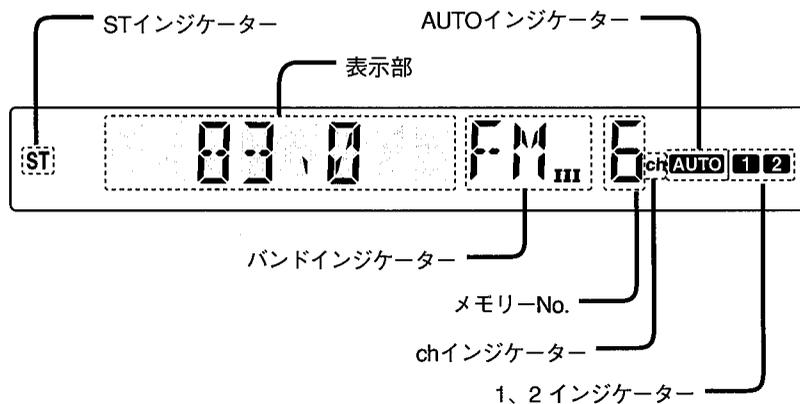
ディスクチェンジャーを聴いているときに、CLKボタンを2秒以上押すと、ディスクネームプリセットモード (21ページ) になります。時間調整をするときは、<<< / >>> ボタンをすぐに押してください。

**10** システムリセット

取り付けたときやバッテリー交換、本機が誤動作したときにペンの先などで**リセットボタン**を押すとすべての設定を初期状態にします。このときディスクネームプリセット以外でメモリーした内容はすべてクリアされます。



●ディスプレイ表示 .....

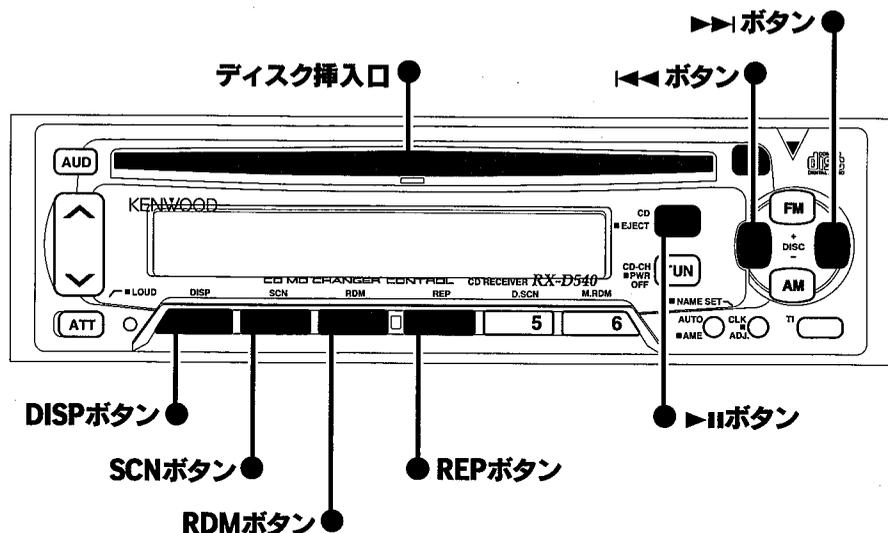


- 1 ラジオON** —ラジオを聴く—  
TUNボタンを押すとラジオがONします。
- 2 バンド切り替え** —聴きたいバンドを選ぶ—  
FMボタンを押すごとにFM I、FM II、FM IIIバンドに切り替わります。  
AMボタンを押すとAMバンドに切り替わります。  
選んだバンドが表示されます。
- 3 オート/マニュアルチューニング** —放送局を探す—  
AUTOボタンを押すごとにオートサーチ⇒プリセットサーチ⇒マニュアルとに切り替わります。オートチューニング中はAUTOと1または2インジケータが点灯します。

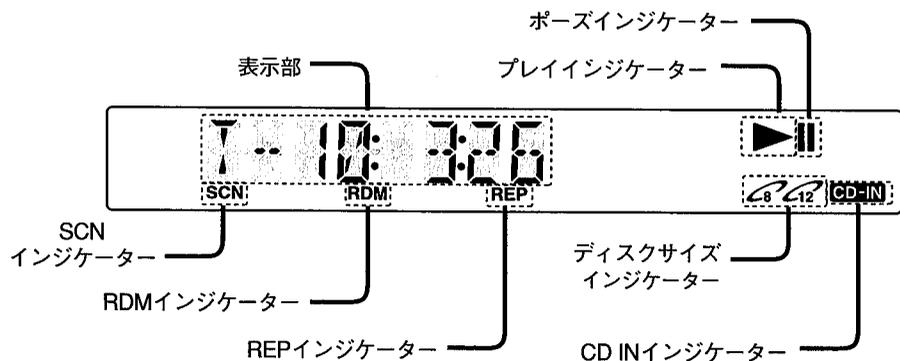
  - オートサーチ (AUTOおよび1インジケータ点灯)  
▶▶ ボタンを押すと周波数の高い方へ、◀◀ ボタンを押すと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。
  - プリセットステーションサーチ (AUTOおよび2インジケータ点灯)  
▶▶ ボタンを押すとメモリーボタンナンバーの大きい方へ、◀◀ ボタンを押すとメモリーボタンナンバーの小さい方へ、メモリーしておいた放送局を順番に聴くことができます。
  - マニュアルチューニング (AUTOおよび1、2インジケータ消灯)  
▶▶ ボタンを押すと周波数の高い方へ、◀◀ ボタンを押すと周波数の低い方へ1ステップずつ変わります。押し続けると連続して周波数が変わります。

FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。
- 4 チューナーメモリー** —放送局をメモリーする—  
放送局を受信中にチューナーメモリーボタン1～6のいずれかを2秒以上押し、押したボタンに今聴いている放送局がメモリーされ、ボタンNo.が表示されます。  
各バンドにそれぞれ6局までチューナーメモリーできます。
- 5 オートメモリー** —自動的に放送局を探してメモリーする—  
AUTOボタンを2秒以上押し、オートメモリーが始まります。オートメモリー中はchインジケータが点滅し、現在受信可能な放送局を各バンド6局まで自動的にチューナーメモリーボタンにメモリーします。
- 6 メモリー呼び出し** —メモリーした放送局を呼び出す—  
チューナーメモリーボタン1～6のいずれかを押し、ボタンNo.が表示され、オートメモリー、チューナーメモリーでメモリーした放送局を受信します。
- 7 交通情報** —交通情報局を受信する—

  1. TIボタンを押すと [TRAFFIC] と表示され、交通情報局を受信します。  
交通情報はどのモードからも受信することができます。
  2. ◀◀/▶▶ ボタンを押すと受信周波数を1620 kHz、1629 kHz、522 kHzに変更することができます。
  3. 交通情報を解除するときは、TIボタンを押すか、他のモードに切り替えます。



●ディスプレイ表示 .....



**1 CDプレイ/ポーズ** - CDを聴く -  
 CDのラベル面を上にしてディスク挿入口に差し込むとCD演奏が始まります。CDが中に入っているときは▶▶ボタンを押すとCD演奏が始まります。CD-INとプレイインジケータ、ディスクサイズ表示が点灯します。演奏中に▶▶ボタンを押すとポーズ(一時停止)状態になり、ポーズインジケータが点灯して演奏時間が点滅します。

**2 イジェクト** - CDを取り出す -  
 ▶▶ボタンを1秒以上押すとCDが出てきます。

**メモ**  
 CDが引き込まれてからすぐにイジェクトすると、再度CDを押しでも引き込まれないことがあります。このようなときは一旦、CDを抜いてもう一度入れ直してください。

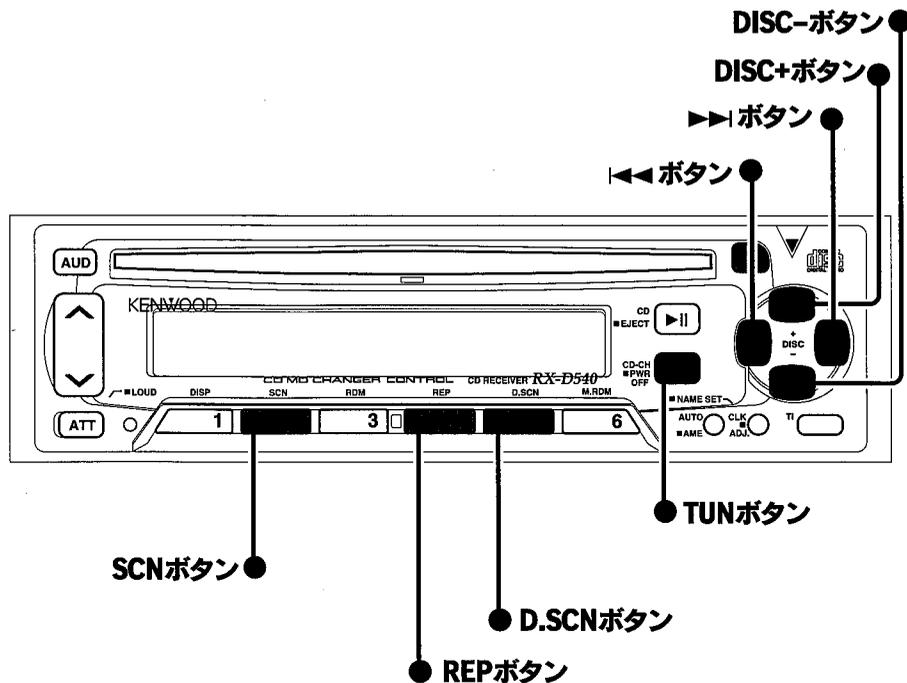
**3 トラックサーチ** - 聴きたい曲を選ぶ -  
 ●▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。  
 ●◀◀ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

**4 リピートプレイ** - 同じ曲を繰り返し聴く -  
 REPボタンを押すごとにリピートプレイがON/OFFします。リピート演奏中はリピートインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。聴いている曲を繰り返し演奏します。

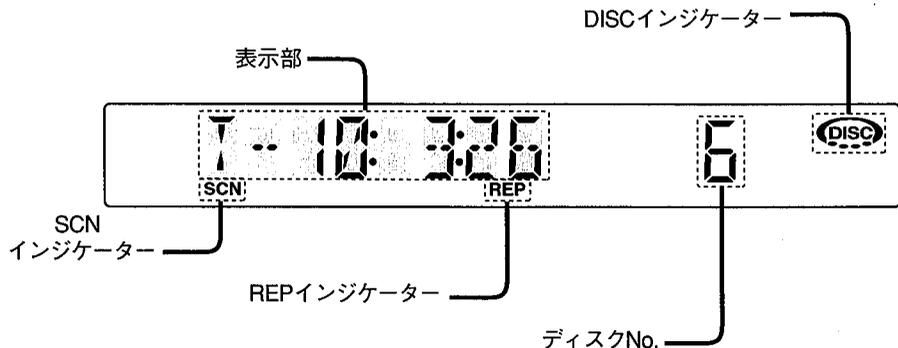
**5 スキャンプレイ** - 聴きたい曲を探す -  
 SCNボタンを押すごとにスキャンプレイがON/OFFします。スキャンプレイ中はスキャンインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。各トラックの先頭部分を次々と約10秒間ずつ演奏します。聴きたい曲が見つかったらSCNボタンまたは、▶▶ボタンを押します。

**6 ランダムプレイ** - 自動的に曲を選ばせて演奏する -  
 RDMボタンを押すごとにランダムプレイがON/OFFします。ランダムプレイ中はランダムインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。自動的に曲を選んで演奏します。▶▶ボタンを押すと、次の曲を自動的に選んで演奏します。

**7 タイム表示切り替え** - 演奏時間表示を切り替える -  
 DISPボタンを押すごとに表示がトラック演奏時間(P-TIME)とトータル演奏時間(A-TIME)に切表示に切り替わります。



●ディスプレイ表示 .....

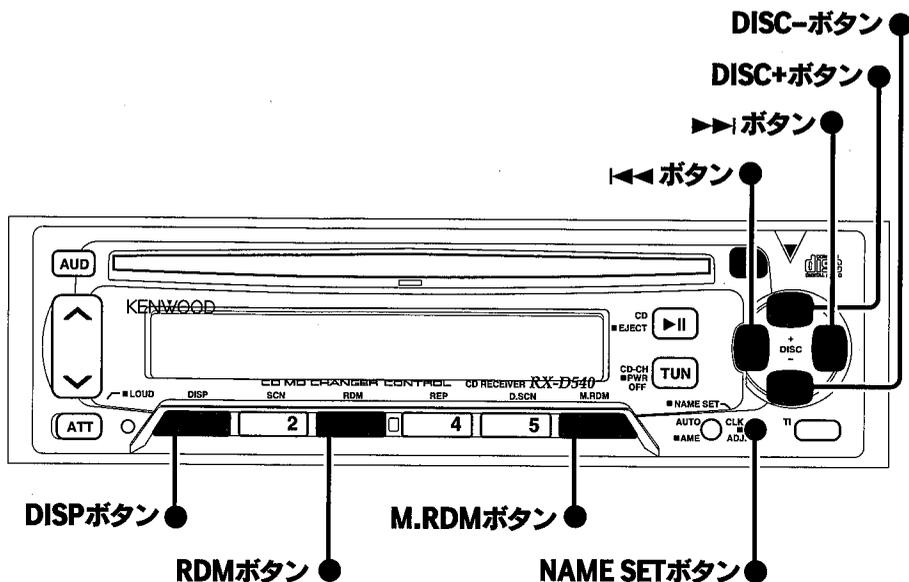


- 1 **ディスクプレイ** —ディスクチェンジャーを聴く—  
TUNボタンを押してCD(MD)-CHモードに切り替えるとディスクプレイが始まります。(TUNボタンを押すごとにTUNERモード ↔ CD(MD)-CHモードに切り替わります。)
- 2 **トラックサーチ** —聴きたい曲を選ぶ—  
▶▶ ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。  
▶▶ ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。  
◀◀ ボタンを押すと現在聴いている曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。  
◀◀ ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

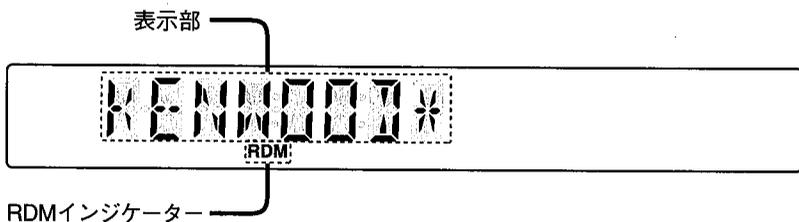
**メモ**  
MDチェンジャーを聴いているときにトラックの先頭まで早戻しすると、自動的に解除されてディスク演奏が始まります。

- 3 **ディスクサーチ** —聴きたいディスクを選ぶ—  
DISC+ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。  
DISC-ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。
- 4 **リピートプレイ** —同じ曲/ディスクを繰り返し聴く—  
REPボタンを押すごとにトラックリピート⇒ディスクリピート⇒解除の順に切り替わります。
  - トラックリピート  
聴きたい曲を演奏中にREPボタンを1回押すと [T-REPEAT] と表示され、REPインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。聴いている曲を繰り返し演奏します。
  - ディスクリピート  
聴きたいディスクを演奏中にREPボタンを2回押すと [D-REPEAT] と表示され、REPインジケータが点灯してディスクNo.表示が点滅します。聴いているディスクを繰り返し演奏します。

- 5 **トラックスキャンプレイ** —聴きたい曲を探す—  
SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがON/OFFします。ONにすると [T-SCAN] と表示され、SCNインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。聴いているディスクの各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。聴きたい曲が見つかったらSCNボタンを押します。
- 6 **ディスクスキャンプレイ** —聴きたいディスクを探す—  
D.SCNボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがON/OFFします。ONにすると [D-SCAN] と表示され、SCNインジケータが点灯してディスクNo.表示が点滅します。マガジン内のディスクの先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。全ディスクをスキャンすると自動的にディスクスキャンがOFFします。聴きたいディスクが見つかったらD.SCNボタンを押します。



●ディスプレイ表示 .....



**7** **トラックランダムプレイ** —聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する—  
**RDMボタン**を押すごとにトラックランダムプレイがON/OFFします。ONにすると[**RANDOM**]と表示され、ランダムプレイ中は**RDMインジケータ**が点灯して自動的に曲を選んで演奏します。**>>> ボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。演奏中は**トラックNo.表示**が点滅します。

**8** **マガジンランダムプレイ** —マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する—  
**M.RDMボタン**を押すごとにマガジンランダムプレイがON/OFFします。ONにすると[**M-RANDOM**]と表示され、マガジンランダムプレイ中は**RDMインジケータ**が点灯して自動的に曲を選んで演奏します。**>>> ボタン**を押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。演奏中は**ディスクNo.表示**と**トラックNo.表示**が点滅します。

**9** **ディスクネームプリセット** —ディスクに名前を付ける—  
 1. 名前を付けたいディスクを演奏中に**NAME SETボタン**を2秒以上押すと、ネームプリセットモードになります。  
 2. **<<</>>> ボタン**で入力したい文字位置を選びます。  
 3. **DISC+/DISC-ボタン**で文字種を選びます。入力できる文字種はA ~ Z, 0 ~ 9, /, +, -, \*, =, <, >, [, ] です。また、英字、数字、記号間の"\_"でスペースが入力できます。入力できる文字数は8文字までです。  
 4. **NAME SETボタン**を押すとネームプリセットモードが終了します。また、10秒間操作を行わないと自動的に終了し、入力したところまでのディスクネームがセットされます。

**メモ**  
 録音用MDにディスクタイトル/トラックタイトルを記録する機能ではありません。

**注意**  
 ディスクネームプリセットできるディスクチェンジャーはKDC-C110、KDC-C106、KDC-C11、C705i、C705sr、MD6、MD66、KMD-C80のみです。また、ディスクチェンジャーによりディスクネームセットできる枚数が異なります。

ディスクチェンジャー名	ネームセット可能枚数
KDC-C11、KMD-C80、MD6、MD66	30枚
KDC-C110、KDC-C106	50枚
C705i、C705sr	100枚

ネームセットしたディスクの識別は総録音時間とトラック数で判断しています。録音時間もトラック数も同じディスクがあった場合は識別ができなくなります。なお、RX-D540のリセットを行ってもネームセットは保持されます。

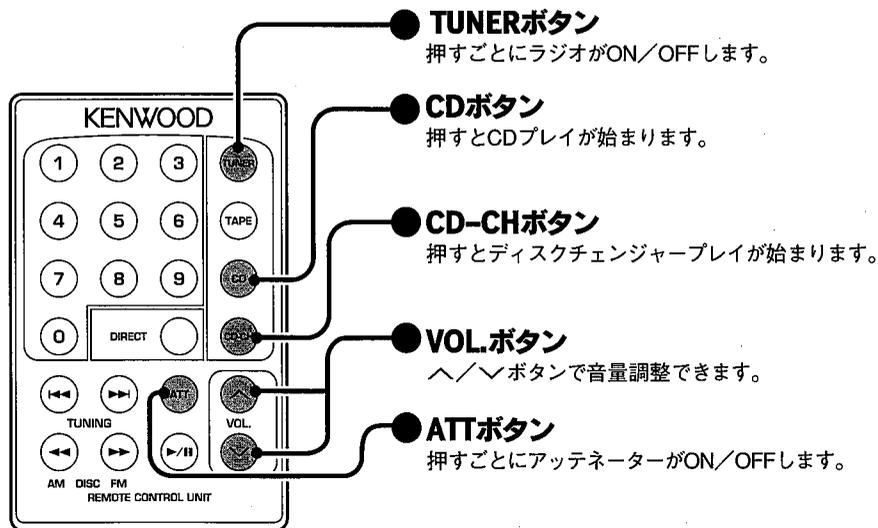
**10** **表示モード切り替え** —演奏時間とディスクネームを切り替える—

- CDチェンジャーの場合  
**DISPボタン**を押すごとにトラック演奏時間(P-TIME)⇒トータル演奏時間(A-TIME)⇒ディスクプリセットネーム表示の順に切り替わります。
- MDチェンジャーの場合  
**DISPボタン**を押すごとにトラック演奏時間(P-TIME)⇒ディスクプリセットネーム⇒ディスクタイトル⇒トラックタイトル表示の順に切り替わります。

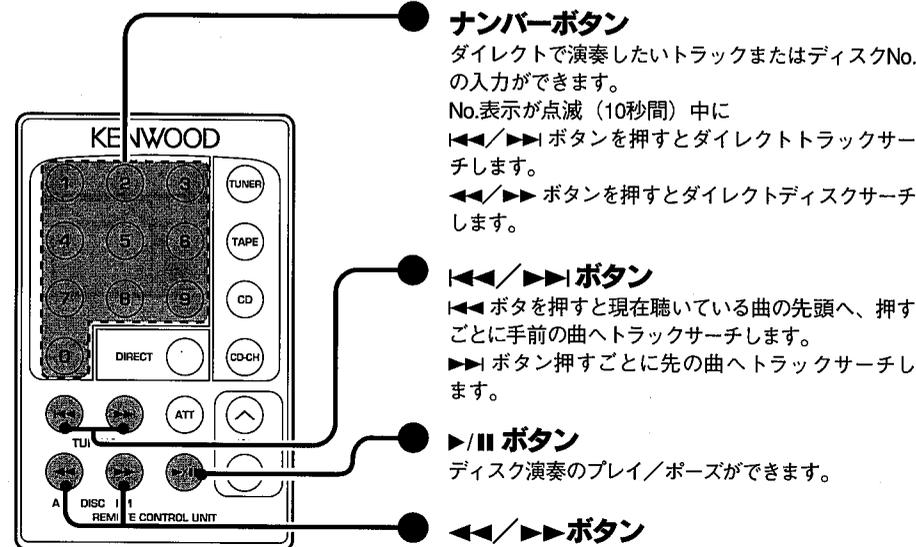
**メモ**  
 ディスクネームプリセットしていないディスクはNO NAMEと表示されます。また、MDにディスクタイトル、トラックタイトルが記録されていない場合もNO NAMEと表示されます。

(別売のリモコン“KCA-R4”を使用するとリモコンから本機を操作することができます。)

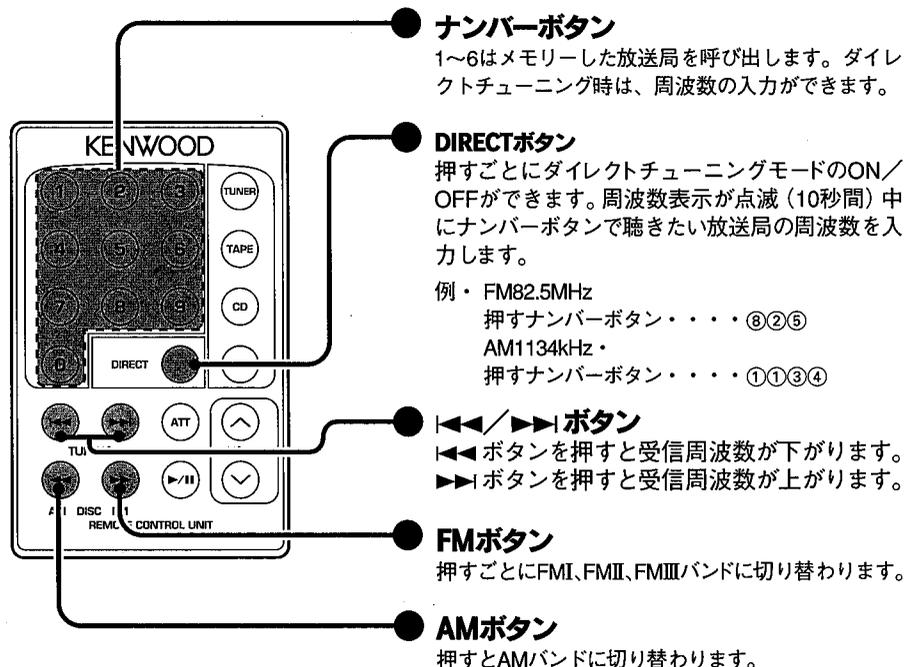
## ■ ALL MODE .....



## ■ CD/DISC CHANGER MODE .....



## ■ TUNER MODE .....

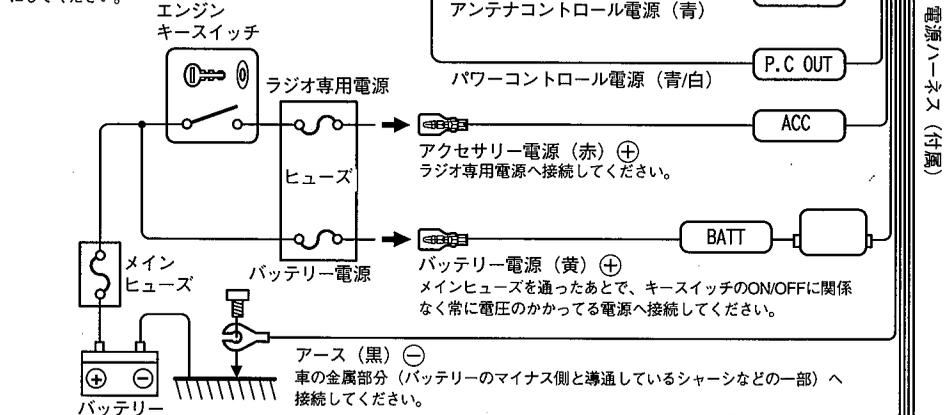


最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

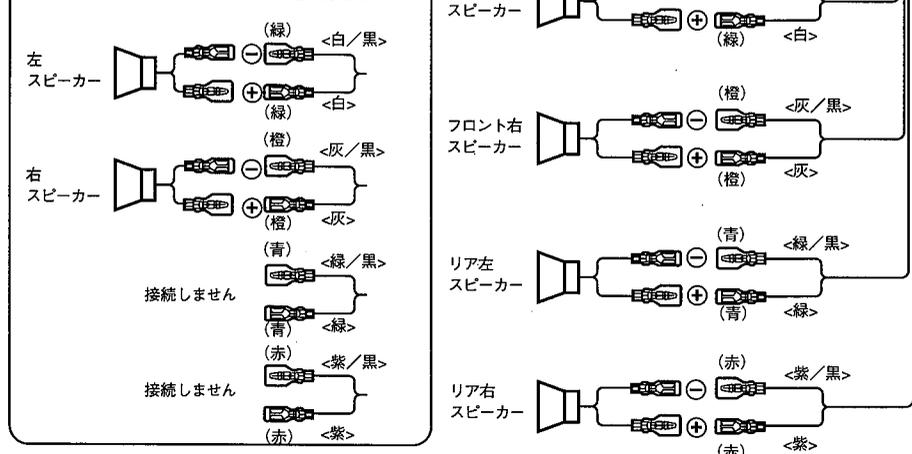
1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをRX-D540に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

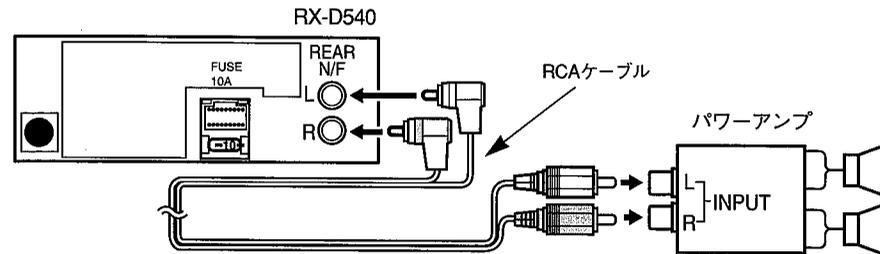


### 2スピーカー時のスピーカー接続方法



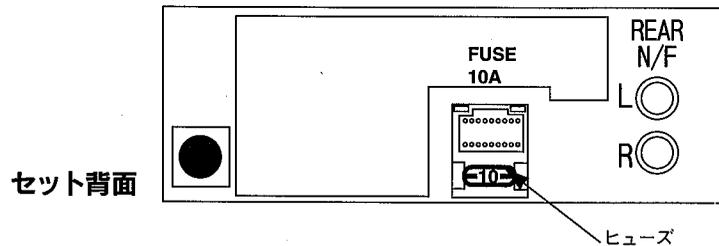
### ● プリアウト端子の接続

別売のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。



### ● ヒューズ交換のしかた

ヒューズが切れた場合はコードがショートしていないことを確認後、セット背面表示してある容量と同じヒューズと交換してください。



# 取り付けかた

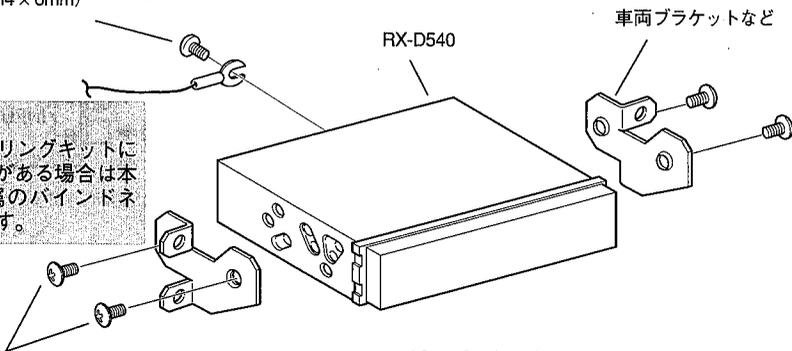
付属のネジ (Ø5×8mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

取り付けかた

**注意** 本機を取り付けの際は、必ず本機に付属しているネジを使用してください。異なったネジを使用しますと、本機のネジ穴を破損することがあります。なお、車両ブラケット用ネジはサラ型、トラス型の2種類付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

バインドネジ (M4×6mm)  
(付属)

**メモ** 別売のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

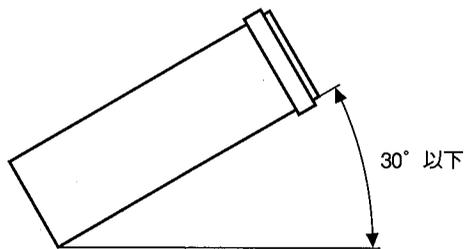


サラタッピンネジまたはトラスタッピンネジ  
(Ø5×8mm) (付属)

### 付属ネジ一覧

	サラタッピンネジ (Ø5×8mm) …………… 4
	トラスタッピンネジ (Ø5×8mm) …………… 4
	バインドネジ (M4×6mm) …………… 1

**注意** 本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けたら音飛びの原因になります。



別売のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にジャストフィットした取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒューズが切れている。</li> <li>入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コード類がショートしていないことを確 認後、所定容量のヒューズと交換してく ださい。</li> <li>"接続のしかた(⇨P.24)"を見て正しく接続 してください。</li> </ul>
音が出ない/小さい	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が最小になっている。</li> <li>フェーダー、バランスが片側に片 寄せた設定になっている。</li> <li>スピーカーコードが間違っ て接続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量を適度に上げてください。</li> <li>フェーダー、バランスを調整してください。</li> <li>"接続・取り付けかた(⇨P.24)"を見て正 しく接続してください。</li> </ul>
操作スイッチを押しても動作 しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。 ⇨P.13
CDが入らない	すでにCDが入っている。	すでに入っているCDを取り出してから入 れてください。
CDを入れてもすぐ出てきてし まう	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDが裏返しになっている。</li> <li>CDが異常に汚れている。</li> <li>結露している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラベル面を上にして入れなおしてくだ さい。</li> <li>"CDのお手入れ(⇨P.9)"を見てクリー ニングしてみてください。</li> <li>しばらく、放置してから使用してくだ さい。⇨P.8</li> </ul>
振動により音が飛んでしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り付け角度が、30°を越えて いる。</li> <li>取り付けが不安定になってい る。</li> <li>CDに傷や汚れなどがついてい る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>30°以内の角度に調整してください。</li> <li>しっかりと固定してください。</li> <li>停車しても同じ部分で音が飛ぶときは、 CDの問題です。"CDのお手入れ(⇨P.9)" を見てクリーニングしてみてください。</li> </ul>
音質が悪い (再生中ノイズが出る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CD自身の音質。</li> <li>CDに傷や汚れなどがついてい る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のCDを再生して問題がなければCD自 身の音質です。</li> <li>"CDのお手入れ(⇨P.9)"を見てクリー ニングしてみてください。</li> </ul>
選曲動作をしても目的の曲に ならない。	ランダムプレイモードになってい る。	ランダムプレイモードを解除してくださ い。⇨P.17
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が大きすぎる。</li> <li>スピーカーコードが車両側のネ ジにかみ込んでいる。</li> <li>スピーカー配線が間違っ ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正音量で使用してください。</li> <li>スピーカー配線をチェックしてください。</li> <li>スピーカー出力端子をそれぞれのスピー カー端子に接続してください。</li> </ul>
エンジンキーをOFFにすると、 メモリー内容が消えてしまう	バッテリー電源が所定の場所に 接続されていない。	"接続のしかた(⇨P.24)"を見て正しく接続 してください。

## 故障かな?と思ったら

## ●ディスクチェンジャーを接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	本機のリセットボタンを押してください。 ⇒P.13
ディスクの演奏が始まらない	電源がONになっていない。	TUNボタンを押してディスクチェンジャーモードにしてください。
指定したディスクが演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクが異常に汚れている。</li> <li>ディスクが裏返しになっている。</li> <li>ディスクが2枚同じ場所に入っている。</li> <li>ディスクの入れた場所と指定No.が違う。</li> <li>ディスクに大きな傷がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクのクリーニングをしてください。</li> <li>マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。</li> <li>マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。</li> <li>マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。</li> <li>他のディスクを使用してください。</li> </ul>
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が最小になっている。</li> <li>アッテネーターがONになっている。</li> <li>マイコンが正常に動作していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量を適度に上げてください。</li> <li>アッテネーターを解除してください。</li> <li>本機のリセットボタンを押してください。 ⇒P.13</li> </ul>
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。⇒P.21

## ●以下の表示でシステムの状態をお知らせします。

- EJECT:** ディスクマガジンが入っていない。  
ディスクマガジンが完全に入っていない。  
など
- NO DISC:** ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04:** ディスクが異常に汚れている。  
ディスクが裏返しになっている。  
ディスクにキズが多く付いている。
- BLANK:** 演奏しようとしたMDに何も記録されていなかった。  
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- NO TRACK:** 演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。  
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-77、E-99:** 何らかの原因で正常に動作していない。  
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。"E-77、E99"表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- HOLD:** 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。  
⇒ ディスクチェンジャー取り付け場所の温度を下げればしばらくのちに表示は消えます。

## 保証とアフターサービス

## ●保証書

この商品の保証書は別途添付しております。  
必ず所定事項の記入及び記入内容をご確認いただき大切に保存してください。

## ●保証期間

お買上げの日より**1年間**です。  
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障が生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッド各営業所が**無料修理**いたします。

## ●保証期間経過後の修理

お買上げの販売店またはケンウッド各営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により**有料修理**いたします。  
本機の当社規定**補修用性能部品**の**最低保有期間**は製造打切後**6年間**です。  
(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ●ディスクオートチェンジャーをお買い上げのお客様へ

修理のためお買い上げの販売店、またはケンウッド各営業所に本機をお持ちになるときは、本機およびディスクチェンジャーを一緒にお持ちください。

なおアフターサービスについて、ご不明な点はお買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、各営業所にご遠慮なくご相談ください。

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比 (dB)	73 dB (MONO)
選択度 ( $\pm$ 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度	27 dB $\mu$

## CD部

レーザー	GaAlAs (ダブルヘテロダイオード, $\lambda=780$ nm)
デジタルフィルター	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	500~200 rpm (線速度一定)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz~20 kHz ( $\pm$ 1 dB)
高周波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比 (dB)	93 dB
ダイナミックレンジ	93 dB
チャンネルセパレーション	85 dB

## オーディオ部

最大出力	35 W $\times$ 4
定格出力	20 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ 、1 kHz、1%THD)
トーンコントロール	100 Hz ( $\pm$ 10 dB)
バス	10 kHz ( $\pm$ 10 dB)
トレブル	1800 mV/10 k $\Omega$
プリアウトレベル	600 $\Omega$ 以下
プリアウトインピーダンス	

## 電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

## 寸法・質量 (重さ)

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 164 mm
質量	1.5 kg

## 付属部品

電源ハーネス	1個
皿ネジ ( $\varnothing$ 5 $\times$ 8 mm)	4本
トラスネジ ( $\varnothing$ 5 $\times$ 8 mm)	4本
バインドネジ (M4 $\times$ 6 mm)	1本

※これらの定格およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。